

22回目の敬老会が行われました。

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



健育会グループの各病院・施設では、平成9年（1997年）より敬老の日に合わせて敬老会を開催し、各病院・施設で患者さん・ご利用者にご家族と共に楽しい時間をお過ごしいただけるよう、職員が工夫をし、様々なイベントを行っています。

健育会グループの敬老会では、「ご長寿をお祝いすること」「患者さん・ご利用者に喜んでいただける楽しいイベントを行うこと」はもちろん、イベントをきっかけにして「普段なかなかお見舞いに来られないご家族の皆様にも病院・施設に足を運んでいただき、患者さん・ご利用者を励ます機会にすること」をモットーにしています。それは患者さん・ご利用者の何よりの励ましになるのは「ご家族と過ごす時間」だと考えているからです。今年22回目を迎えた敬老会も、職員たちによる工夫を凝らした企画が各地で開催されました。

そして、健育会グループでは敬老会の取り組みを促進する意味で、敬老会の趣旨に沿って「より多くのご家族に参加いただき、より良いおもてなしをできたか」「患者さん・ご利用者に笑顔の1日を提供できたか」を基準に、理事長である私が「敬老会大賞」を選出し、表彰しています。

今年は、敬老会大賞 病院の部に「花川病院」、介護施設の部に「介護老人保健施設 しおん」を選出しました。

敬老会大賞

病院部門 花川病院

【選定理由】

9月6日に発生した北海道胆振東部地震の対応中にもかかわらず、不安になっている患者さんやご家族にひとときでも安心してほしいとの思いから、敬老祭を開催し、参加家族数と総来場者数も昨年より増加したこと。



施設部門

介護老人保健施設 しおん

【選定理由】

参加家族数と総来場者数が、昨年を上回ったこと。また写真のご利用者のご家族の素敵な笑顔から、皆様の喜ばれた様子が伝わってきたこと。



竹川病院

全来場者数：407名
(ご家族世帯数：108世帯)

- 午前中は、例年通り病院1階にて賀寿式典を行いました。病状により病室での表彰者もいらっしゃいましたが、どの患者さんも表彰状を笑顔で受け取られており、その様子をご覧になっていたご家族も喜んでいらっしゃいました。
- 午後は各病棟で病院祭のイベントを実施。三味線奏者や子供合唱団、また職員による演劇等を催しました。どの病棟でも、音楽に合わせてながら、ご家族と一緒に一生懸命手拍子されている患者さんの姿が印象的でした。
- 一日を通し、患者さんとご家族と一緒に楽しむ場面が多く見られた病院祭となりました。



熱川温泉病院

全来場者数：180名
(ご家族世帯数：67世帯)



- 玄関では特製「敬老リアル案山子」がお出迎え。玄関奥の1Fロビーには、文化祭風の団らんコーナーを設置し、「伊豆地元産品福引き」「雛のつるしクラブ・職員作品展」「季節の絵手紙展」「熱川温泉病院と伊豆関連展示」「抹茶カフェ&プリクラコーナー」などを楽しんでいただきました。
- 病棟では久しぶりにご家族と昼食を共にする患者さんは、伊豆の味を満喫しながら、和やかに団らんの時間をお過ごしいただきました。
- 午後の祝賀式典では日舞やフラダンスでお祝いし、90歳以上の20名の患者さんを表彰しました。最後は、フラワーレイを会場に集まった全員にかけて、懐メロや唱歌の合唱し大団円を迎えました。





- 仙台の「すずめ踊り」を各階と敬老会会場で披露。患者さんとご家族も参加し、踊りを楽しませていました。
- すずらん保育園に「お祝いの踊り」を、また釜小学校金管倶楽部に「演奏」を披露してもらいました。子どもたちの生き生きとした姿に、お集まりいただいた患者さんやご家族から温かい拍手をいただきました。
- 今回より新しい試みとして、食事会ではご家族と患者さんで自由に好きなものを召し上がっていただけるbuffetスタイルを導入し、大変好評でした。



- 院内にボーリング・射的・輪投げ等様々な体験コーナーやお化粧コーナーやカフェコーナーを設置しました。また、玄関前に設けた露店では、職員手作りの焼きそばやフランクフルトを振舞いました。
- 式典では、ご長寿表彰をはじめ、地元の芸能クラブの方による「マジックショー」や院内託児室「つばさ幼児園」によるかわいらしい「ダンスと歌」を披露しました。また、いわきの夏の風物詩である「いわきおどり」を患者さんと一緒に職員が笑顔いっぱい踊り、和やかな時間を過ごしていただきました。
- 昼食は栄養科特製お弁当で、患者さんにご家族のお食事の時間に華を添えました。



- 今年も、台風・地震と天災がありました。当日はそれがまるでそのような晴天となり、昨年を上回る入院患者さん94名ご家族224名の方にお越しいただきました。
- 今年の感謝祭は、「職員で結成されたバンド“花ウタリ”によるオープニングコンサート」でスタートし、1階ロビーが患者さんやご家族で埋め尽くされるほどの大盛況でした。
- その後は、「ランチタイムコンサート」を聴きながらの和洋折衷の昼食タイム。その他「保育所園児によるフラワーリースプレゼント」「マジックショー」「バルーンアート」「職員によるヨサコイ」「ありがとうカフェ」などたくさんのイベントを実施し、患者さんにご家族と一緒に楽しみ、笑顔でお過ごしいただくことができました。
- また1階ロビーに患者さんのリハビリでの取り組み作品を展示し、リハビリの成果を存分に感じていただきました。



- 今年も西東京市を中心に伝統芸能阿波踊りの活動を行なっている「たなし連」の皆さんに迫力ある踊りを披露していただきました。各病棟にも周っていただき、病院・施設全体で盛り上がりを見せました。
- たこ焼きや焼きそば、フランクフルト、ヨーヨー釣り等いろいろな出店を出し、患者さんやご家族に楽しんでいただきました。
- スタッフによるマジックショーや東京音頭を楽しんでいただいた後、御神輿が病棟をまわり患者さんにも参加していただき、大にぎわいでした。



- 白寿、卒寿、米寿、傘寿の節目を迎えた12名の方のお祝いをしました。表彰前にお化粧をし、皆さん笑顔で大変嬉しそうでした。
- お食事では厨房が腕によりをかけた力作「祝い膳」をご用意し、ご入居者・ご家族から美味しいと評判でした。
- 職員とその仲間達による和太鼓チーム「ていら」による演奏を披露しました。迫力ある和太鼓のリズムにご入居者も大変盛り上がっていました。



- 平成最後の敬老祝賀会ということで、大正・昭和・平成という時代を歩んでこられたご入居者に尊敬と感謝の気持ちを込めて敬老祝賀会を開催し、お祝いをしました。
- 節目を迎えられた入居者さん（古希2名、喜寿1名、米寿5名、卒寿2名、白寿2名、百四賀1名 計13名）に表彰状をお渡しすると、感極まって涙を流されるご入居者もいらっしゃいました。
- ココタウンの子ども達の心温まる歌のプレゼントや、懐かしい大衆演劇をご覧いただき、和やかな時間をお過ごしいただくことができました。



- 今回の敬老会ではコンセプトを『癒し』として、午前中にはリラクゼーションとしてアロマの香りの中「足浴」「手浴」「ヘッド&ハンドスパ」を実施しました。女性にはスパ、男性には足浴が大変好評でした。
- 午後からの式典では、通所97歳女性と入所100歳の男性のご利用者に代表して花束を贈呈しました、女性からは感謝のお言葉をいただき、また100歳の男性については感涙され、ご家族や職員たちの感動を誘いました。
- 出し物として「ボランティア中学生のダンス」「新日本舞踊家元による祝いの舞」「職員によるダンス・コスプレ相撲」が行われ大きな盛り上がりを見せました。



ケアポート板橋

全来場者数：139名
(ご家族世帯数：57世帯)



- ご利用者121名、ご家族57家族98名、ボランティア6名（雅楽）、職員43名 が参加しました。敬老祝賀会では、24名の節目のご利用者を一人ずつ中庭で表彰させていただき、各フロアから中庭に向け施設全体から祝福の拍手が送られました。
- 栄養課スタッフが松花堂弁当に腕を振りました。お箸にまでこだわり、金沢（石川県）から取り寄せました。箸先についている金箔が、割ると料理の上に舞い落ち、豪華な食事により一層花を添えてくれました。
- 催し物として、ボランティアさんによる「雅楽の生演奏」、職員の「ぶち合わせ太鼓」を披露しました。ご利用者・ご家族から感動のお声をたくさんいただきました。

ケアセンター けやき

全来場者数：46名
(ご家族世帯数：22世帯)

- 百寿の方から喜寿までの節目のご利用者のご長寿を祝う表彰式を行いました。参加されたご利用者の皆様は、式典の心地良い雰囲気を楽しまれている様子でした。
- 昼食には『お祝い膳』をご用意し、ご利用者とご家族が一緒に楽しいお話をしながら舌鼓を打っていただきました。
- 会の後半には、ご利用者の方からのお祝いの歌のプレゼントや、職員有志による余興などが行われ、たくさんの笑顔と、拍手の中、大盛況で終わることが出来ました。



しおん

全来場者数：110名
(ご家族世帯数：69世帯)



- 今年の敬老会はご利用者132名、ご家族82名が参加され、地域のボランティアの方も例年より多く、3団体28名の方に参加していただきました。
- お食事は調理師が腕を振ったお赤飯、栗ごはん、お刺身、炊き合わせ、天ぷら、デザートをお楽しみいただきました。
- 午後からは職員が「はねこ踊り」で全ユニットをまわるとともに、ボランティアさんによるバンド演奏、日本舞踊、さらに今年初めてお越しいただいた「石巻エイサー」による総勢20名によるエイサーを披露していただきました。中には幼稚園・小学生のお子様もいっしょに、頑張って踊る姿に、ご利用者の皆さんも大きな拍手を送っておられました。



ひなた

全来場者数：22名
(ご家族世帯数：14世帯)



- 各フロアの最ご長寿のご利用者を表彰しました。写真つきの感謝状をお渡しさせていただきました。大変喜んでいただけました。
- 当日は、地域のボランティアさんにご参加いただき、「三味線演奏会」「歌と映像ショー」や「マジックショー」を披露し、ご利用者とご家族にご観覧いただきました。会場は大きな盛り上がりを見せ、ご参加いただいた皆さんに楽しんでいただきました。
- 昼食は栄養部が心を込めて作った「敬老会御膳」を提供させていただきました。

ひまわりデイサービスセンター



- ご利用者とご家族で合計106名の方に敬老会に参加していただき、大変な盛り上りを見せました。
- ボランティアで来ていただいた女川の潮騒太鼓「轟会」の演奏ではご利用者も飛び入り参加して頂き、一緒に太鼓を叩いて楽しんでいらっしゃいました。

ナースインホームひまわり



- 職員の手作りお弁当を食べながら、地元中学生のソーラン節を楽しんでいただきました。この日のために職員もソーラン節を踊れるように練習し、ご利用者の前で披露しました。ご利用者には大変喜んでいただき、普段表情が無い方も笑顔で手拍子をしてくださいました。



今回の感謝祭は、オアシス21、花びりか、ナースイン花びりか、石狩ふれあいほっと館の4事業所の合同ではなく、全て別々のプログラムで行いました。

オアシス21



- 入所ご利用者100名、通所ご利用者59名が参加されました。
- オアシス21のお隣にある石狩南高校の生徒さん40名の素晴らしい吹奏楽を披露していただきました。演奏の迫力と優しい音色に涙を流すご利用者もいらっしゃいました。
- お食事はおもてなしの『秋の緑州膳』をご用意し、ご利用者とご家族と一緒に召し上がっていただきました。
- 午後は、『金剛禅総本山少林寺 花川道院』による少林寺拳法の迫力のある演武やハンドベルの美しい音色で楽しいひとときを堪能していただきました。
- 今年で5回目となるスマイルコンテストでは、日頃のご利用者のとびきりの1枚を職員が撮影して行われました。100を超える投票があり、大接戦の末、大賞が選ばれました。



ナースイン花びりか



- 今年の敬老会では日本の伝統に触れ、楽しい秋のひと時を演出しました。まず「茶道」を作法を説明しながら実演しました。良い香りの美味しいお抹茶を堪能していただきました。また、ボランティアによる民謡も披露され、ご利用者の皆さんは歌と踊りに大変喜ばれていました。
- イベントの最後は長寿のお祝いをしました。101歳になられるご利用者からは、お元気の秘訣を教えてくださいました。

花びりか



- お食事は季節の食材をたっぷりと使用した彩り豊かなお弁当『秋味覚 寿御膳』をご用意しました。蓋を開けた瞬間「おいしそう！」などの歓声をいただきました。
- 昼食の後は、ご長寿のお祝いでは節目のご利用者をご紹介します。記念品を贈呈させていただきました。
- 『バルーンアート』では、ピエロに扮した職員が場を盛り上げ、大笑いの渦に包まれました。また、ボランティアさん6名による日本舞踊の美しい姿を、真剣な眼差しでご覧になられていました。



石狩ふれあいほっと館



- お食事は季節の食材をたっぷりと使用したお弁当を楽しんでいただきました。
- 昼食の後は、ボランティアさん10名によるフラダンスの素敵な踊りを披露していただき、楽しい会場の雰囲気になんと踊りだされるご利用者もいらっしゃいました。
- また、職員（看護師）がシャンソンを披露し、秋の楽しいひと時を感じていただきました。

